Season in the CUDO

2010年 創刊号

–会員の皆様へ–

理事長あいさつ

2010年春、我がNPO法人CUDOもお陰様で創立満5年半を過ぎ新年度を迎えることができました。

これもひとえに我々のCUD活動への大きな理解とご協力を多くの皆さまからいただいた結果に他なりません。今は昔と申しましょうか、CUDO前進となる色覚バリアフリー活動を推進する中、資金もない状況にあっても志と意地と仲間を資産にNPO法人CUDOの設立を目指したことが思い出されます。2004年6月に東京都に特定非営利活動法人(NPO)の申請を行ない、同年10月1日に認可を得て10月8日にNPO法人CUDOを設立し、現在は事務局も千代田区外神田に構えることができました。

この間CUDOの活動の広がりは理事長の私自身が予想し得ないほどの進展となり、現在ではいろいろな印刷物や商品カタログ等にCUDマークが見受けられることも珍しくなくなって参りました。その要因としてはバリアフリーデザインやユニバーサルデザインという「人に優しい」をコンセプトとしたデザイン思想が一般に広く理解され定着をしてきた成熟社会に於いても「色覚の多様性」に関してはまだまだ未成熟であったことにあると考えています。また我々が団体名称に”ユニバーサルデザイン”を導入した訳は先天性の色覚特性者のみならず加齢による老人性白内障等や疾病による後天性色覚特性者を含め、できるだけ多くの人々への視覚情報適正化のお手伝いをすることを活動の主旨としたことにあります。

これからもCUDOは主旨に基づき様々な分野に活動範囲を広げていきたいと思いますが、そのためにも土台となる基盤構築を図り足元から活動を下支え戴く賛助会員制度を拡充したいと考えております。

また同様にサポーターとして、また協力モニターとしてお力添えをいただける一般会員につきましてもお申し込みやお声掛けを多数頂戴しておりますので随時募集をして参りたいと考えております。

まだまだ我々の活動自身は日本国内が主でございますが、CUDOが技術協力したアドビシステムズ(株)製ソフト(CS4/Illustrator/Photoshop)のCUD校正機能(色覚シミュレーション)搭載はある意味「世界標準」でもあり、今後は海外も視野に入れての活動が求められておりますし、そのようなご要請に出来うる限りお応えすることがNPO法人CUDOのこれからの使命であると自覚しております。

NPO法人　カラーユニバーサルデザイン機構

理事長　武者廣平

interview

東洋インキ製造株式会社

聞き手　ク）：CUDO
話し手　東）：CNK 本部マーケティング部 部長 武田 一孝様

ク） 東洋インキさんは UDing という CUD 支援ツールを作られておりますが、いつ頃からどのようなきっかけで取り組まれたのでしょうか。

東） 当社の UDing シリーズですが、2002 年に開発に着手しました。提携先の豊橋技術大学とはカラーマネージメント等のテーマで 20 年以上の共同研究をしていたのですが、色材のメーカとして社会貢献できるものとして開発したものです。開発が終わりましたので、2004 年 1 月に新聞誌上で発表しました。現在も無償で提供しています。

ク） 他のシミュレーションツールと違う点は？

東） UDing は二つのソフトがセットになっています。UDing シュミレーターでは単に色覚のシミュレーションをするだけでなく、色弱者の混同色がどこであるかを自動的に抽出して、利用者に通知したり改善のための方向をアドバイスすることができます。また CFUD（Color Finder for UD）の方は、グラフィックデザイン向けの「Color FInder」屋外向けの「ダイナカル」色見本帳と連動した CUD のための配色アプリケーションです。デザイナーは色覚に配慮するためには、好きな色が使えなくなると思いがちなのですが CFUD では実際の色見本を使いながら、利用できる色がたくさんあることを知らせる機能です。たとえば、企業のコーポレートカラーを選択すると、その色がどの色と混同するかを自動的に教えてくれますから、残りの多くの色の中から次に使いたい色を選択してゆけばよいわけです。

ク） UDing は使い勝手も良いのですが、特に印刷領域に対しての強みがありますね。

東） たとえば、PC の画面だけで見てチェックしていて良いのかという事に対して、CF 色見本帳との連携もそうなのですが、実際に出力した場合にどうなのかということについて、コニカミノルタグラフィックイメージングのデジタルコンセンサスあるいは富士フイルムグラフィックスシステムズのファインジェットプルーファとの連携もしています。

ク） どのくらい配布されましたか。また実際に UDing を使われている事例などはどうでしょうか。

東） 累計で 9500 枚程配布しました。最初は手焼きで CD を作っていましたが、CUD が注目されるようになって来て、多くのリクエストをいただいております。いくつかの事例をご紹介いたしますと、バンダイ株式会社さんでは何十人ものデザイナーさんが全員 UDing を使ってデザインされておられます。現在はパッケージデザインから始めておられます。警視庁では交通安全キャンペーンを都バスにバスラッピングを施してアピールをしましたが、その業者選定で、入札条件に UDing でチェックすることとされました。

都バス：バスラッピング

ク） それはすごいですね。東京の先進的な自治体でも印刷物の納品前に CUD チェックをすることとなっていますが、どんどん広がると良いですよ。

東） 配慮は色による情報格差を避けるという社会貢献なのですが、某県の印刷会社さんは CFUD を使って受注が増加したといいます。営業活動として他社との差別化にもつながるようです。以前は何のことかと思われていたことが、UDing の事をどこでも耳にするようになりました。デザイン向けの雑誌の取材も大変増えてきています。

©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TVTokyo・ShoPro・JR Kikaku
©Pokémon ©2009 ピカチュウプロジェクト
©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

ク） 企業賛助会員制度を始めて約 1 年になりました。賛助会員様は増えていますがいかがでしょうか。

東） 企業賛助会員が展示会などでアピールするために、会員証として CUD マークを表示する際の、盾・額・賞状の見本を作って見せて欲しいですね。グッドデザイン賞の盾みたいなのをつくっても良いんですよね？

ク） そうですね。CUD 検証されてない製品が CUD 検証品と誤解されないようにとしか言ってませんでしたね。何か見本を作ってみましょう。さて今後 CUDO に期待していることなどありましたら。

東） 見ておりましたら、CUDO は色々と戦略的な事業展開をされておられるので、何か計画をお持ちなのだと思っておりますが、今後の戦略について教えていただけると良いですね。

ク） 計画はいくつか持っています。たとえば、CUD に関して CUDO の代わりに話してくれる方・団体を増やすこと。配慮の領域や規模が広がってきましたので、そろそろ検証作業などを代わりにやっていただける方法を考えています。また、CUD に関するレベル別のコースを計画しています。今後とも CUDO とのコラボレーションをどうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

CUD 歳時記

今回から、「CUD 歳時記」というタイトルで一年間、その季節に関わりのある CUD について書くことになりました。どうぞ宜しくお付き合いください。

「春」ですね。春まだ浅い時期、学生たちは今までの集大成とも言える入学、就職試験等のシーズンであり、「人生の岐路に立つ時」であると言っても大げさではないでしょう。

色弱の人たちと話をしますと、試験において学科、面接両方に合格したにも関わらず、身体検査で「色弱」と判定され、目標であった学校や職業を断念せざるを得なかった、という話を耳にします。

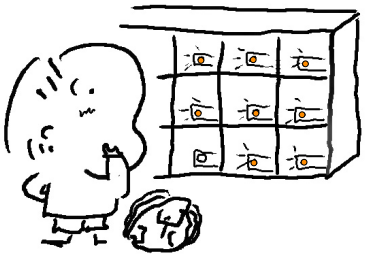
入学や就職してからも同様で、身体検査で「色弱」と判定され , その後、配属先によっては大変な苦労をされるケースもあり、突然、目の前にあらわれた障壁（バリア）と向き合わなければなりません。そういう意味で「春」は 1 年の中でいちばん「自分の色覚」を意識することが多い季節かもしれません。

このような障壁（バリア）をひとりでも多くの方に理解していただき、多様な色覚でも見やすく、わかりやすい「カラーバリアフリー」をみなさんと一緒に見つけて行きたいと思っています。

街でみつけた “CUD 惜しいで賞 ”

街をぶらり歩けば、その努力 “ おしいで賞 ” をみつけることがある。先日はこんなところで…。

重い荷物を背にある駅に到着。この荷物をどこかに預けたいのだけど…。ズラリとコインロッカーを発見。さて、空いているのはどこかい…な？！「明るい赤ランプ」が光っている。これは何だろう？…あっ、これだ。「赤ランプが点灯しているときは使用中です。」と書かれたシールが横に貼られていた。なるほど、そういうことか。んっ？！このロッカーではランプの色は 1 種類なのに。そこに「赤ランプ」と書いちゃったのは “ 惜しいで賞 ”。せっかく「点灯・消灯」の判別ができるランプを使用しているのに、色名を書いたことでとまどいを与えるかもしれない。



２色以上のランプを使用する場合はランプの色名を明記するが、このロッカーには「ランプが点灯しているときは使用中です。」と書くだけでよかったのである。惜しかった。

海外の CUD 関連情報

kleurenblind

http://www.kleurenblindheid.nl/

オランダのサイトらしく。各種の歴史・理論・商品販売・ソフト・海外情報まで入っているので定期的にチェックしています。

We are colorblind.com

http://wearecolorblind.com/

見分けにくい図版の例などがあります。

Colblindor.com

http://www.colblindor.com/

ここにも色々なツールがあります。

プロに聞く　CUD 疑似変換ツール

色弱者にとってどの色の組み合わせが見分けにくいかを「疑似体験できる」CUD 疑似変換ツール（色覚シミュレーション）によって、カラーユニバーサルデザインに取り組みやすくなりました。現在入手できる CUD 疑似変換ツールの大半は、ケンブリッジ大学のモロンとバレッテルの論文を元に開発されています。CUDO では、この論文を元に AdobeRGB 色域内の数百の色について変換前後の色を検証し、修正しています。修正のポイントには C 型（一般色覚者）にとって色弱者の見え方に誤解を与えないことも加えています。例えば、無彩色（グレイスケール）では変換後の色に色味がないように、黄と青は変換後も色名が変わらない程度の変換にとどめることなどです。この検証作業により CUDO の P 型変換、D 型変換が実現したのです。

さらにモロンとバレッテルの論文では T 型の変換式も記載されていますが、CUDO では T 型検証者がおらず T 型変換は実現していませんでした。しかし最近、後天的ですが T 型の見え方をする検証者が現れ、検証実験を行いました。今後 P、D 型に T 型も加えた CUD 疑似変換ツールが普及していくのではないかと思います。

C、P、D 型のいずれにとっても魅力的で見分けやすい配色でデザインすることは容易ではありません、さらに T 型が加わるとさらに難しくなるかもしれませんが、そこがデザイナーの腕の見せどころです。また、簡単にデザインしたい人向けに、推奨配色を提供していきたいと考えています。ご期待ください。　　石川県工業試験場　前川満良（カラーユニバーサルデザイン機構 会員）

CUD 認証取得しました

最近 CUD マークを取得した事例をご紹介いたします。

（順不同）

住友スリーエム株式会社

「Post-it」フレンドリーシリーズ・Speed Up バージョン

http://www.mmm.co.jp/office/post_it/list23/5001_p.html

株式会社日立製作所

乗用 / 人荷用エレベーター「ワイドアーバン」「シースルーアーバン」: ユニバーサルデザイン [積載質量 1150 ～ 1600kg・仕様限定]

かご内・乗り場のインジケータ表示と操作盤のボタン

http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2010/04/0 405.html

株式会社リコー

imagio MP C7501/C6001

「カラーユニバーサルデザイン対応印刷機能」搭載

http://www.ricoh.co.jp/imagio/mp_c/7501_6001/point/point2.html

オリンパスイメージング株式会社

2010 年春のデジカメ新製品（限定モデル、海外専用モデルの全カラーバリエーション含む）

http://www.olympus.co.jp/jp/news/2010a/nr100329cudj.cfm

＊それぞれの製品詳細は会員様専用ページでご覧頂けます

http://www.cudo.jp/support/

news

国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD：総裁寛仁親王殿下）は、2010 年 10 月　31 日 ～ 11 月 3 日、静岡県浜松市において「第 3 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2010 in はままつ」を開催いたします。CUDO も賛助会員でメディアの UD プロジェクトの主査をつとめています。

http://www.ud2010.net/

雑誌、新聞掲載されました

「月刊仕上げ技術」（工分社発行）

3 月号インタビュー『「色をつけさえすれば見やすくなる」という認識は誤り』

「建築士」（社団法人日本建築士連合会発行）

11 月～3 月号に連載「カラーユニバーサルデザイ ン」

徳島新聞

「あなたの想い伝わっていますか」2 月 26 日 付

北海道新聞 他（共同通信社配信）

「色覚障がいある子も見やすい教科書に」4 月 4 日 付

色覚障害ある子も
見やすい教科書に

フルカラー化進み各社工夫

お知らせ

当団体ホームページに会員ページ OPEN

会員様専用ページを準備しております。

会報誌は今後、そのページより PDF でご覧頂くことができます。（ダウン ロード可）

企業賛助会員の企業名を一般公開します。

掲載ご希望の企業様におかれましては当団体ホームページなどで一般公開をさせていただくことを検討しております。

ご希望の企業様はＣＵＤＯ事務局まで連絡をお願いいたします。

取材協力のお願い

企業賛助会員の皆様が CUD マークをどのように活用されているのか、

また、その反響等について会報誌で紹介させて頂きます。

事前に担当者より取材の連絡をさせて頂きますので、その折にはご協力をお願いいたします。

賛助会員向けのイベント企画中

賛助会員の交流会、CUD 勉強会等を予定しております。

詳細は会員ページ、メールにてお知らせいたします。

編集後記

創刊号発行に向けて次々と原稿が私のデスクトップに集まってきた。早速、データをフォルダにまとめて DTP ソフトに流し込む。

いい記事を書いてくれた皆さんに感謝しつつ、文字数オーバーをどうしようか悩む日々。　（編）

SEASON IN THE CUDO

No. 1 創刊号

2010 年 4 月 16 日発行

発行元：

NPO 法人　カラーユニバーサルデザイン機構

〒 101-0021　東京都千代田区外神田 1-1-5

昌平橋ビル 3F

Tel/Fax：03-6206-0678

発行人：CUDO 事務局